

保全業務実務担当者の知識修得と意識向上を目指して!!

～ 平成25年度 中部地区官庁施設保全連絡会議（名古屋会場） ～

官公法に基づき、建築物等の保全の適正化を推進するための取り組みの一つとして、愛知・岐阜・三重県内の官署の方を対象に、今年度は三県合同の名古屋会場として、8/1(木)に「中部地区官庁施設保全連絡会議」を開催しました。

今年度は保全業務共通仕様書等の改訂や津波防災診断指針等の説明に加えて、大成建設(株)から「旧耐震公共施設の耐震化保全のポイント」を紹介していただきました。

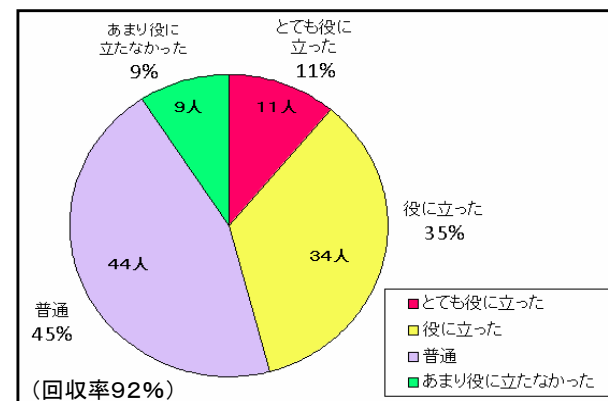
○議題

1. 国家機関の建築物等の保全の現況について
2. 官庁施設の津波防災診断指針(平成25年4月版)について
3. 建築保全業務共通仕様書等、建築保全業務労務単価、平成26年度各所修繕要求単価・庁舎維持管理費要求単価について
4. 施設保全についての事例紹介:旧耐震公共施設の耐震化保全のポイント
5. 国家機関の建築物における吹付けアスベスト等の使用実態に関する調査結果について
6. 保全実態調査及び保全業務支援システム(BIMMS-N)の活用について
7. 中部地方整備局管内の平成24年度保全実態調査の結果報告、平成25年度保全実地指導について
8. 災害被害の報告について
9. その他お知らせ事項(パンフ:国家機関の建築物等の点検・パンフ:官庁施設の保全の紹介、保全台帳・保全計画の書式について、各種支援ツール(Webサイト)の紹介)

○開催日・参加者数等

開催日	場 所	参加者数(()内は参加官署数)			
		国	独・財	自治体	合計
8/1(木)	名古屋国際会議場	71(59)	5(4)	39(29)	115(92)

○アンケート結果(全体評価)



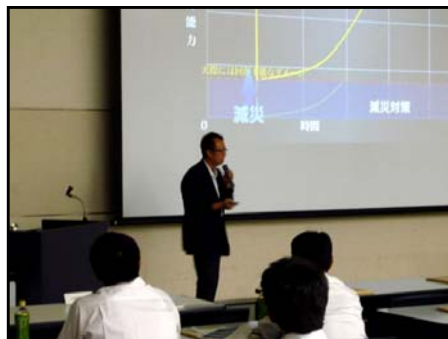
※全体評価は左記の4項目に加え「役に立たなかった」(回答数0)の5項目で評価をしていただきました。

「とても役に立った」「役に立った」の合計の率は46%であった。「普通」は45%であったがその内容は、
 ・国家機関の保全の状況を知ることが出来た。
 ・どの情報がどこで入手できるか分かったので役に立った。
 ・何をしなければならないか参考となった。等の意見であった。故に「普通」評価の方にも役に立ったのではないかと考えられる。

○開催写真



会議の様子



大成建設(株)による説明



保全相談コーナーの様子